

## 「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

### 1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

#### ・IT実装支援

協力工事店向けの支払システム・専用アプリ等の独自システムを活用したIT化を促進しています。これらの導入により、施工から支払いまでの短スパン化、最新の邸別施工情報や施工マニュアルの早期共有を可能とし、協力工事店の業務効率向上に大きく寄与してまいりました。また、協力工事店とのコミュニケーションの補助としてメッセージ機能を活用し、より密な関係の構築に取り組んでいます。

#### ・グリーン化の取組み

当社グループでは、港や拠点と建築現場間での部材輸送の効率化を図っております。輸送距離の短縮や空コンテナの回送回数の削減は、CO<sub>2</sub>削減はもちろんのこと配送時間の効率化やドライバーの長時間労働の抑制にも繋がっており、環境にも人にも優しい取り組みとなっております。

### 2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行のは正に積極的に取り組みます。

#### ①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

#### ②手形などの支払条件

下請代金の支払いについては、現金払いとします。

#### ③知的財産・ノウハウ

「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

#### ④働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

### 3. その他

当社は、「家は、性能。」を掲げ、高性能かつ高品質な住宅を提供することで、地球と調和した豊かな暮らしとサステナブルな未来に貢献することを目指しています。その実現には、そこに関わる全ての人(従業員、取引先など)とその関係が健全であることが必要不可欠です。そのため、当社は、取引先とのパートナーシップをさらに強化し、共存・共栄に向けた持続可能なサプライチェーンの構築に取り組みます。

2025年1月11日  
株式会社一条工務店 代表取締役社長 岩田 直樹